



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
 コード番号 6674 URL <http://www.gs-yuasa.com/jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 村尾 修

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート室 部長 (氏名) 松島 弘明

TEL 075-312-1211

四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	296,984	16.8	13,721	6.5	14,210	3.0	6,218	27.5
29年3月期第3四半期	254,328	4.1	14,674	3.7	14,657	2.7	8,572	29.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 14,720百万円 (%) 29年3月期第3四半期 2,014百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	15.07	14.04
29年3月期第3四半期	20.77	19.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	388,831	196,898	43.3
29年3月期	370,508	188,155	43.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 168,418百万円 29年3月期 161,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		3.00		7.00	10.00
30年3月期		3.00			
30年3月期(予想)				7.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	11.2	24,000	3.9	22,500	0.2	12,500	2.2	30.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	413,574,714 株	29年3月期	413,574,714 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,353,373 株	29年3月期	835,277 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	412,635,991 株	29年3月期3Q	412,754,815 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(四半期損益の推移)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般の動向

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用所得環境の改善が続くなか、個人消費も緩やかな回復基調を維持しました。また、IT需要を中心とした世界的な設備投資意欲の改善により輸出が増加基調にあり、内外需共に底堅く推移しました。

世界経済に目を転じますと、中国においては国内の消費市場規模の堅調な拡大が続くものの、金融規制の強化に伴う資金調達コストの上昇や、環境規制の強化による工業生産の減少が影響し、景気は緩やかに減速しました。米国においては継続的な雇用情勢の改善を受けた内需の回復により設備投資も緩やかに回復しておりますが、欧州ではBrexitに伴う経済をめぐる先行き不透明感が依然として根強く、景気回復の重石となっています。以上の各国の景気動向に見られるように、世界経済の回復は依然として緩慢な状況の中で推移しました。

このような経済状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、自動車電池事業において国内の新車用需要が好調に推移したほか、当期決算においては、期初よりPanasonicの国内鉛蓄電池事業を連結対象に組み込んだ影響等により、2,969億84百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて426億56百万円増加（16.8%）しました。

当第3四半期連結累計期間の利益は、上記のとおり国内の自動車電池事業が堅調に推移したものの、産業電池事業や海外の自動車電池事業において主要材料である鉛価格の高騰により利益が減少したほか、のれん等償却の影響により営業利益は137億21百万円（のれん等償却前営業利益は153億38百万円）と前第3四半期連結累計期間に比べて9億53百万円減少（△6.5%）しました。経常利益は、急激に円高が進行した前第3四半期連結累計期間に対し、当第3四半期連結累計期間は為替が安定的に推移し、為替差損益の改善が見られたものの、上記の営業利益の減少に伴って142億10百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて4億46百万円減少（△3.0%）しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、海外関係会社整理損を計上したほか海外関係会社の留保利益に対する繰延税金負債計上に伴い税金費用が増加したことにより62億18百万円（のれん等償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は79億71百万円）と前第3四半期連結累計期間に比べて23億54百万円減少（△27.5%）しました。

②報告セグメント別の動向

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（自動車電池）

国内における売上高は、新車メーカーへの販売が好調であったことに加え、Panasonicの国内鉛蓄電池事業譲受による売上が増加したことにより、656億54百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて203億29百万円増加（44.9%）しました。セグメント損益（のれん等償却前）は、上記の販売増加や事業譲受の影響等により、45億73百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて7億16百万円増加（18.6%）しました。

海外における売上高は、主として東南アジアでの販売が増加したことにより、1,386億87百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて159億68百万円増加（13.0%）しました。一方でセグメント損益は、主要材料である鉛価格の高騰等により、64億64百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて14億68百万円減少（△18.5%）しました。

これにより、国内・海外合算における売上高は、2,043億42百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて362億98百万円増加（21.6%）しました。セグメント損益（のれん等償却前）は、110億37百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて7億51百万円減少（△6.4%）しました。

（産業電池電源）

売上高は、産業用リチウムイオン電池の販売が減少したことなどにより、490億52百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて4億90百万円減少（△1.0%）しました。セグメント損益は、上記の販売減少や鉛価格の高騰等により、30億15百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて10億20百万円減少（△25.3%）しました。

（車載用リチウムイオン電池）

売上高は、ハイブリッド車用リチウムイオン電池等が増加したことにより、313億69百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて12億78百万円増加（4.2%）しました。セグメント損益は、開発費用等が増加したものの上記の販売増加により、7億43百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて10億24百万円改善し、黒字に転じました。

（その他）

売上高は、特殊用途電池の販売が増加したほか潜水艦搭載リチウムイオン電池の生産開始により、122億20百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて55億70百万円増加（83.8%）しました。全社費用等調整後のセグメント損

益は、管理部門の経費が減少したこともあり、5億42百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて8億71百万円改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、需要期を控えた棚卸資産の増加や保有株式の時価評価による増加などにより、3,888億31百万円と前連結会計年度末に比べて183億22百万円増加しました。

負債は、社債を発行するなど有利子負債の増加により、1,919億32百万円と前連結会計年度末に比べて95億79百万円増加しました。

純資産は、配当金の支払がありました。親会社株主に帰属する四半期純利益や保有株式の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加などにより、1,968億98百万円と前連結会計年度末に比べて87億43百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年10月30日の「平成30年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 平成29年3月31日	当第3四半期連結会計期間 平成29年12月31日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,994	20,979
受取手形及び売掛金	71,941	75,378
商品及び製品	34,445	41,699
仕掛品	15,534	17,881
原材料及び貯蔵品	12,859	15,829
繰延税金資産	3,175	3,214
その他	10,715	9,433
貸倒引当金	△507	△514
流動資産合計	173,159	183,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	51,122	49,674
機械装置及び運搬具（純額）	33,895	35,079
土地	24,250	24,479
リース資産（純額）	954	780
建設仮勘定	9,418	6,243
その他（純額）	4,636	4,368
有形固定資産合計	124,278	120,626
無形固定資産		
のれん	5,599	4,662
リース資産	679	662
その他	8,053	7,282
無形固定資産合計	14,332	12,607
投資その他の資産		
投資有価証券	47,711	57,452
退職給付に係る資産	6,714	9,256
その他	4,682	5,298
貸倒引当金	△406	△382
投資その他の資産合計	58,702	71,625
固定資産合計	197,313	204,859
繰延資産	36	69
資産合計	370,508	388,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 平成29年3月31日	当第3四半期連結会計期間 平成29年12月31日
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,774	37,418
電子記録債務	8,480	14,767
短期借入金	27,534	21,773
コマーシャル・ペーパー	—	8,000
未払金	14,858	6,387
未払法人税等	3,616	2,531
設備関係支払手形	2,317	239
その他	17,239	18,173
流動負債合計	109,820	109,290
固定負債		
社債	—	10,000
転換社債型新株予約権付社債	25,000	25,000
長期借入金	21,723	19,889
リース債務	1,163	1,086
退職給付に係る負債	5,913	5,851
その他	18,732	20,814
固定負債合計	72,532	82,641
負債合計	182,353	191,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,021	33,021
資本剰余金	55,292	55,313
利益剰余金	59,501	61,591
自己株式	△358	△1,385
株主資本合計	147,456	148,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,769	15,390
繰延ヘッジ損益	—	1
土地再評価差額金	2,397	2,397
為替換算調整勘定	2,330	3,559
退職給付に係る調整累計額	△1,231	△1,471
その他の包括利益累計額合計	14,266	19,877
非支配株主持分	26,432	28,480
純資産合計	188,155	196,898
負債純資産合計	370,508	388,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 平成28年 4月 1日 至 平成28年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成29年 4月 1日 至 平成29年12月31日
売上高	254,328	296,984
売上原価	192,081	230,462
売上総利益	62,247	66,522
販売費及び一般管理費	47,572	52,801
営業利益	14,674	13,721
営業外収益		
受取利息及び配当金	533	657
持分法による投資利益	562	125
為替差益	—	358
その他	386	480
営業外収益合計	1,481	1,621
営業外費用		
支払利息	675	620
為替差損	362	—
その他	461	511
営業外費用合計	1,499	1,131
経常利益	14,657	14,210
特別利益		
固定資産売却益	38	161
受取保険金	121	—
その他	73	10
特別利益合計	233	171
特別損失		
固定資産除却損	187	129
固定資産売却損	6	29
減損損失	339	—
関係会社整理損	—	650
その他	152	63
特別損失合計	686	872
税金等調整前四半期純利益	14,204	13,510
法人税等	3,755	4,740
四半期純利益	10,449	8,770
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,876	2,552
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,572	6,218

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 平成28年 4月 1日 至 平成28年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成29年 4月 1日 至 平成29年12月31日
四半期純利益	10,449	8,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,104	4,607
繰延ヘッジ損益	5	1
為替換算調整勘定	△11,282	1,214
退職給付に係る調整額	△800	△225
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,489	353
その他の包括利益合計	△12,463	5,950
四半期包括利益	△2,014	14,720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,677	11,829
非支配株主に係る四半期包括利益	△336	2,891

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は平成29年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,738,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,385百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					計	その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池			
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	45,324	122,719	168,043	49,543	30,091	247,678	6,650	254,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,149	821	1,971	2,338	829	5,139	△5,139	—
計	46,474	123,541	170,015	51,881	30,920	252,817	1,510	254,328
セグメント利益又は損失 (△)	3,856	7,932	11,788	4,035	△280	15,543	△329	15,214

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△1,879百万円であり、セグメント間取引消去△1,120百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△759百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益14,674百万円との差は、のれん等の償却費539百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「車載用リチウムイオン電池」セグメントにおいて、連結子会社が所有する事業用資産の一部が遊休となったため、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において339百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「国内自動車電池」セグメントにおいて、パナソニック ストレージバッテリー(株) (現 株GSユアサ エナジー) の株式取得に伴い、第2四半期連結会計期間末より、同社を連結の範囲に含めております。

これに伴うのれんの増加額は、暫定的に算定されたのれん9,665百万円を計上してはりましたが、当第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了したことから6,084百万円に変動しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	65,654	138,687	204,342	49,052	31,369	284,764	12,220	296,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,034	788	1,822	2,095	396	4,315	△4,315	—
計	66,688	139,476	206,165	51,148	31,766	289,079	7,905	296,984
セグメント利益又は損失 (△)	4,573	6,464	11,037	3,015	743	14,795	542	15,338

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△1,729百万円であり、セグメント間取引消去△934百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△794百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益13,721百万円との差は、のれん等の償却費1,617百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、当社グループの経営管理指標を営業利益からのれん等償却前営業利益に変更したため、セグメント利益の測定方法を変更しております。

これにより、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、変更後の方法で作成したものを記載しております。

また、当社グループは、事業部を基礎としたセグメントから構成されており「国内自動車電池」、「国内産業電池及び電源装置」、「海外」、「車載用リチウムイオン電池」の4つを報告セグメントとしております。

第1四半期連結会計期間において、当社グループを取り巻く市場環境の変化に柔軟に対応するために、第四次中期経営計画の重要戦略課題の一つである「市場・顧客を見据えた事業体制への再編」を実行し、国内自動車電池事業と海外鉛蓄電池事業を一つの自動車電池部門に統合しました。これに伴い報告セグメントを「自動車電池国内」、「自動車電池海外」、「産業電池電源」、「車載用リチウムイオン電池」としました。なお、「自動車電池海外」には従来より取り扱う海外産業用電池の取引高が一部含まれております。

「自動車電池国内」および「自動車電池海外」の合計値を「自動車電池」として記載しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより記載しております。

3. 補足情報

(1) 四半期損益の推移

平成30年3月期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (H29/4-6)	②第2四半期 (H29/7-9)	③第3四半期 (H29/10-12)	④第4四半期 (H30/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	87,805	96,402	112,776	—	184,208	296,984	—
営業利益	2,876	3,109	7,734	—	5,986	13,721	—
経常利益	3,273	3,174	7,763	—	6,447	14,210	—
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,254	1,295	3,668	—	2,549	6,218	—

平成29年3月期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (H28/4-6)	②第2四半期 (H28/7-9)	③第3四半期 (H28/10-12)	④第4四半期 (H29/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	75,364	83,535	95,428	105,277	158,899	254,328	359,605
営業利益	2,988	4,184	7,501	8,431	7,173	14,674	23,106
経常利益	2,875	3,774	8,007	7,887	6,650	14,657	22,545
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,840	2,271	4,460	3,656	4,111	8,572	12,229

平成28年3月期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (H27/4-6)	②第2四半期 (H27/7-9)	③第3四半期 (H27/10-12)	④第4四半期 (H28/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	81,642	89,507	94,159	100,301	171,149	265,308	365,610
営業利益	3,109	3,705	7,338	7,756	6,814	14,153	21,909
経常利益	3,044	4,004	7,220	7,146	7,049	14,269	21,416
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	951	2,665	3,010	2,402	3,616	6,627	9,030

平成27年3月期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (H26/4-6)	②第2四半期 (H26/7-9)	③第3四半期 (H26/10-12)	④第4四半期 (H27/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	82,321	89,199	94,940	103,298	171,521	266,462	369,760
営業利益	3,109	4,492	5,762	7,548	7,602	13,365	20,914
経常利益	3,763	5,039	6,430	7,124	8,802	15,233	22,357
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,342	2,856	3,331	1,513	5,198	8,530	10,043

平成26年3月期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (H25/4-6)	②第2四半期 (H25/7-9)	③第3四半期 (H25/10-12)	④第4四半期 (H26/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	65,632	82,278	92,557	107,526	147,911	240,468	347,995
営業利益	1,609	2,130	6,022	8,435	3,739	9,762	18,197
経常利益	2,658	2,421	6,290	8,963	5,079	11,369	20,333
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	127	2,917	1,866	5,070	3,045	4,912	9,982